

杏 雲 堂

～病院と皆様との架け橋～

Vol.09 2018.07.31発行



杏雲堂病院の敷地内に
大久保彦左衛門（大久保忠教）
屋敷跡の碑があります。
正面玄関右手の明大通りから
ご覧になれます。

特集

- 内科
- 杏雲堂病院音楽会
『心に香る 癒しのコンサート』

連載

- ・Dr.コラム（消化器内科：磯村好洋）
- ・とくする お薬の話（薬剤科：大谷道輝）
- ・部門紹介（4階：女性専用病棟）
- ・入院中の食事紹介（栄養管理科）
- ・竹重事務部長の“映画道”

看護の力

～がん患者さんに
寄り添つて～

杏雲堂病院は今年6月、創立
136年を迎えました。

日本のがん研究に大きな役割
を果たしてきた歴史ある佐々木
研究所と共に伝統を継承しつつ、
社会の変化に即しながら安心で
満足していただける、心温まる
医療を提供しています。

国民の2人に1人はがんに罹
患すると言われるほど、現代は
「がんと共に生きる時代」です。
がん患者さんの療養生活は入院
のみならず外来や在宅へと多岐
にわたっており、私たち看護師
もがん看護のすそ野を広げる活
動に貢献していくことで、力を
発揮しています。

当院では、今年5月に『緩和
ケア病棟』を開棟しました。患
者さん自らが苦しみを開放し、自
分らしく生きること、病いやす
く生きることとして受け
入れ、患者さんとご家族にとつ
て最善のクオリティ・オブ・ラ
イフが得られるよう全人的ケア
でお手伝いすることを病棟の理
念とし、緩和ケア認定看護師や
実践能力に高い看護師がケアに
あたっております。

全室個室で静かで清潔感のあ
るお部屋、家族控え室や調理ス



杏雲堂病院 看護部長
梶原 洋子（かじわらひろこ）

ベースも作りました。新設のデ
イルームでは、コンサートやお
茶会などイベントを予定してお
り、皆様に癒しの場を提供した
いと考えています。先日には、
ヴァイオリンとピアノの慰問コ
ンサートが開催されました。
また、がんの治療を働きなが
ら受けられる方や家庭生活と治
療の両立された方のために、
「外来化学療法室」の看護を充
実させています。5床のベッド
を配置し、化学療法認定看護師
と専門性を極めた看護師が、医
師や薬剤師、理学療法士等、多
職種によるチームで安全な治療
はもとより、在宅での生活を支
援するための指導や相談もおこ
なっています。

これからも、急性期から終末
期のあらゆる段階において、患
者さん、ご家族の皆様に満足い
ただけるような看護の提供と多
職種との協働によるチーム医療
で、患者さんに寄り添い共に歩
いてまいります。

磯村 好洋 (いそむら よしひろ)

杏雲堂病院 消化器内科 科長 (医学博士)

日本内科学会認定医・総合内科専門医/日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医/難病指定医(炎症性腸疾患)

日本がん治療認定医機関 がん治療認定医

日本ヘリコバクター学会 ピロリ菌感染症認定医

杏雲堂病院Dr. コラム <第8回>

ピロリ菌と胃癌のおはなし

消化器内科: 磯村好洋

苦しくない!
胃カメラのおすすめ

最新のカメラ設備、多数の
早期胃癌の内視鏡治療経験
があるからこそこの診断力、
どちらもあります!

ピロリ菌という名前はどこ
かで耳にしたことがあると思
います。胃癌になつた人のほ
とんどがピロリ菌感染者であ
り、ピロリ菌に感染したこと
がなければ胃癌になることは
ほとんどありません。ピロリ
菌は子供の時に家族から感染
していることが多く、持続的
な慢性胃炎をひきおこし、萎
縮性胃炎に進展します。この
萎縮性胃炎から胃癌が発生し
てくると考えられています。

日本人では中高年の半数以上
がピロリ菌に感染しており、
そのほとんどが無症状です。
ピロリ菌感染が判明した場合に
は除菌を提案します。除菌に
よつて胃癌のリスク軽減が期
待できるからです。またピロ
リ菌感染に伴う萎縮性胃炎の

胃カメラでの詳細な観察によ
つて、ピロリ菌の感染状況を
推定することができます。ピ
ロリ菌感染が判明した場合に
は除菌を提案します。除菌に
よつて胃癌のリスク軽減が期
待できるからです。またピロ
リ菌感染に伴う萎縮性胃炎の

程度によって、胃癌のリスク
評価をすることができます。
胃癌のリスクに応じて胃カメ
ラ検査を計画的に行うことで
胃癌の早期発見が可能となり
内視鏡治療での治癒、ひいて
は胃癌によって命を落とすこ
とを回避できるのです。

胃カメラが怖い、つらいと
いうお気持ちのために躊躇
されていることはありません
か? 当院では患者様のご希望
に応じて、麻酔を使つた苦し
くない検査を提供します。い
までの検査が辛かつたとい
う場合はぜひご相談ください。

安心して検査を受けることが
できます。

女性の便秘

日本内科学会では便秘の定
義は「3日以上排便はない状
態、または毎日排便があつて
も残便感がある状態」です。

女性はホルモン、ダイエット、
排便の我慢などの要因により
便秘になりやすい傾向があり
ます。排卵後から生理までの
間に分泌されるホルモンのブ
ロゲステロンは、平滑筋の働
きを抑え腸の動きが悪くなる
ことから、生理前に便秘が起
こりやすくなります。朝食は
朝食を抜くと蠕動運動が起
りにくくなり、便秘に繋がり
ます。ダイエットによる食事
量の制限も食物纖維摂取の減
少の原因になります。

薬にも便秘の原因となるも
のがあります。女性の貧血に
使用される「鉄剤」やむくみ
に使用される「利尿薬」は使

便秘は最近の研究では、「パ
ーキンソン病」、「メタボリッ
クシンドローム」、「狭心症」
などのリスクを高めることも
判つてきました。便秘を「病
気」と考えて受診し、生活習
慣の改善や適切な薬の使用に
よる治療により健康で快適な
毎日を過ごしてください。

とくする お薬 の話

～第9話～



大谷 道輝 (おおたに みちてる) : 診療技術部長・薬剤科長

薬学博士 東京大学附属病院・東京通信病院を経て、前年度より杏雲堂病院薬剤科長就任。多数の書籍執筆や、TV番組出演経験有

杏雲堂病院では、音楽による「心の面からの癒し」を感じていただきやすく、コンサート活動に力を入れております。

今年度は『心に香る 癒しのコンサート』と銘打ち、5回の開催を予定しております。

今回は、5月と6月に開催いたしましたコンサートの様子をお伝えいたします。

杏雲堂病院音楽会

心に香る 癒しのコンサート



<Vol.1> ピアノデュオ&独唱 出演: 氏家彩弥乃さん・矢田紘子さん
2018年5月22日 (火) 9階リハビリ室&8階緩和ケア病棟個室 15:00~



息の合った連弾の様子



左: 氏家彩弥乃さん 右: 矢田紘子さん

第一部は、9階リハビリ室にて、ピアノ連弾・独唱・有名唱歌を皆さんと歌うコーナー等たくさんの企画を、第二個室を訪問し、ミニコンサートを開催いたしました。

小鳥のような可愛らしい歌声に癒されたり、皆で歌つて楽しんだりと、リフレッシュできるイベントとなりました。



<Vol.2> ヴァイオリンコンサート 出演: 水谷晃さん・金子典子さん
2018年6月22日 (金) 9階ラウンジ&8階緩和ケア病棟デイルーム 15:00~

東京交響楽団のコンサート・マスター、水谷晃さんをお迎えし、『ヴァイオリンコンサート』を開催いたしました。ピアノ伴奏は、合唱団東京フリューゲル専属ピアニストの金子典子さんです。

第一部は、9階ラウンジにてクラシックの名曲を中心とした演奏を、第二部は、8階緩和ケア病棟のデイルームでの演奏に加え、その場のリクエストにお応えした演奏を行ない、感動の渦に包まれました。

ヴァイオリンは表現力に優れた楽器ですが、生演奏ではその場の息遣いや空気の振動などと相まって、1曲がまるで短編小説を1話読んだかの如く、重厚なひとときを感じました。お集まりいただいた多くの患者さんやご家族、職員の満足感溢れる表情も印象的でした。

音楽の力で、入院生活に彩りを添えられたら幸いです。



9階ラウンジでの演奏



8階緩和ケア病棟デイルームでの演奏



腫瘍内科

尾野村医師

よりひとこと

キラキラした音色で、さすがコンサートマスター!、といふ素晴らしい演奏でした。緩和ケア病棟では、心のこもった美しい音色に涙する方も…。闘病で疲れた心に癒しを与えてくださいましたこと、大変感謝しています。

左: 水谷晃さん 右: 金子典子さん



再び、ギンレイホール
で観た映画の話しに

今月は「病院映画」から再びギンレイホールで上映された映画を取り上げる。病院近くの飯田橋のギンレイホールには、今も欠かさず駆けつけている。何度も紹介したが、ギンレイホールは新規公開の3ヶ月後的新作映画の2本立てという嬉しい上映システム。

新作ロードショーを観る習慣のない僕にとって、ギンレイホールで上映される映画は、全てが初めて観る作品ばかりとなる。これが一番の魅力。大ヒットした話題作も稀にかかるが、その多くはギンレイホールが毎月発行している「ギンレイ通信」に書かれた情報だけで、何の先入観もなくいきなり知らぬ映画と遭遇することになる。

全く関係のない2本の映画をテーマが重なるように組み合わされており、この2つの映画の関連がいつも深い余韻として心に残るのである。上映映画の選択は支配人の久保田女史が一手に担っているとご本人から直接伺つたことがある。

素晴らしい感性と、「選眼」にいざなふる。6月に上映されたばかりの作品。あまり期待していなかつたが、非常に楽しく、最後は深く考えさせられた。こういう想定外の感動が一番嬉しい。ギンレイホールに心から感謝したくなる瞬間だ。この映画は医療と切り離せない。その意味で病院職員にも是非観ていただきたいものだ。かつて教員として文学を教えていた主人公は、今では重いアルツハイマーを患っていて認知能力は衰える一方だ。

その主人公に50年も連れ添つた老妻は、ある日突然、家族に何も告げず、キャンピングカーで旅行に出かけてしまう。古いキャンピングカーを運転するのは重い認知症の夫。彼が敬愛するヘミングウェイの故郷を訪ねる大旅行だ。それを知つて仰天し、怒りが収まらないのは親の面倒を看ていた長男。どうやっても連絡が取れず、漸く連絡が取れた後も、直ぐに戻つて来てという家族の願いを全く聞き入れず、遙かかなたのフロリダまでの大旅行に突入。老夫婦の珍道中は行く先々で災難を巻き起こしながらも、久々の二人だけの旅行で、何の先入観もなくいきなり知らぬ映画と遭遇することになる。

こんなことが実際に実現できたから、何と素晴らしい。僕も憧れてしまつ。実際にはありえない一つの夢物語だが、認知症に陥つた高齢者と家族が、どう過ごすのが一番幸せなのか、答えを導き出すのは極めて困難だ。明確な答えはないのではないか。それでいて、問題そのものには誰でもいつも直面している。この映画はその一つの可能性を探つてみたが、これが現実にできるとはとても思えない。本当にどうしたらいいのだろう? 身体はしつかりしているのに、認知症で物事の判断ができない高齢者は、意識はしつかりしているが、それは驚きの結果が待つているが、それは驚きの結果が待つているが、そのドナルド・ザザーランドは往年の名優。あの「24」のキーファー・ザザーランドの父親と言う方が今の若い映画ファンには通じるだろう。認知症の老人役を淡淡とこなしているが、滲み出るユーモア感が絶妙。そして妻役はヘレン・ミレン。名女優!舞台も俳優もないのは親の面倒を看ていた長男。アメリカ一色の映画なのに、監督はイタリアの名匠パオロ・ヴィルジイ。いかにもイタリアの人情喜劇の雰囲気がアメリカを舞台に漂うのは感動的。とっても楽しく、ちよつぱり切なく、最後は大いに考えさせられる絶品。必見です。



『ロング、ロングバケーション』
価格：¥3,800（税抜）発売・販売元：ギャガ © 2017 Indiana Production S.P.A.

<編集後記>

大手自動車メーカーで再び不正が発覚したとのニュースが続いている。マスコミは管理体制の不備だと集中砲火を浴びせ企業ブランドの失墜は図りしぬれず、不信の目は不正を働いた本人のみならず同僚にも向かれられます。これは管理責任者にとって耐え難いほどに辛いことです。形式的な仕組みやうわべだけの言葉では改善は望めません。不正を働かせない不断の努力が必要です。ただそれはとてもとても難しいことです。（平良）

杏雲堂 Vol.09

発行：杏雲堂病院 広報委員会
発行日：2018年07月31日

ご意見ご感想は
k-kouhou@po.kyoundo.jp
までお寄せください

公益財団法人佐々木研究所附属 杏雲堂病院

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台1-8
TEL : 03-3292-2051（代表）



最新情報は公式HPへ
[URL] <https://www.kyoundo-hospital.jp/>



杏雲堂病院



土曜外来診療体制の 変更について

2018年7月より土曜日の外来診療は
「第1土曜日」と「第3土曜日」
のみとなりました。

診療科は、
**内科・婦人科
循環器科・腫瘍内科**
の、4科で対応し、
婦人科は完全予約制となりました。

外来のご予約

外来予約センター電話番号
03-3292-2058（直通）

予約受付時間
月～金 9:00～17:00
土(第1・3) 9:00～12:00